



Strada

Panasonic®

取扱説明書

リヤビューカメラ

品番 CY-RC500HD

取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に取り付け、配線してください。
 特に「安全上のご注意」は、取り付け、配線の前に必ずお読みください。
 取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で取り付けられ
 たことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
 また、その取り付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

販売店様へのお願い

- 取り付け後、この取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

お客様へのお願い

- 取り付け、配線には専門の技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、説明書とともに大切に保管してください。

保証書付き

内容物の確認

不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

番号	品名	数量
①	リヤビューカメラ (コード 50 cm)	1
②	中継コード (3.5 m)	1
③	電源コード (5 m)	1
④	防水ゴム	1
⑤	カメラブラケット	1
⑥	ワッシャー付きねじ (M3 × 5 mm)	2

番号	品名	数量
⑦	六角レンチ	1
⑧	圧着式コネクター	1
⑨	コードクランパー	5
⑩	コードレール (18 cm)	3
⑪	束線バンド	2

添付品

品名	数量
取扱説明書（保証書付き）	1

- 本書に記載の寸法は、おおよその数値です。
 イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- 包装材料などは、商品を取り出したあと、地域・自治体の定めに従って、適切に廃棄やリサイクルの処理をしてください。

仕様

出力映像	広角鏡像（後方確認用）
使用電源	DC12 Vマイナスアース
消費電力	約0.8 W（約65 mA）
撮像素子	1/3.8インチカラーCMOS
有効画素数	約126万画素（イメージセンサー）
レンズ	広角 固定焦点f=1.029mm F値：2.0
画角	水平：約180° 垂直：約100°
S/N比	40 dB以上（推奨照度にて）
水平解像度	600 TV本以上（中心部）
照度範囲	約0.5 lx～100 000 lx
映像出力	HD-TVI方式
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	23 mm×23 mm×23 mm（背面突起部を除く） コード長さ 50 cm
質量	約30 g（コードを含む）
保存温度範囲	-40 °C～85 °C
動作温度範囲	-30 °C～85 °C

- 本製品の仕様、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- ハイダイナミックレンジ対応。
- 本機はドライバーの後方視界を補助するためのもので、全ての危険および障害物をカメラで映し出せるものではありません。
- 本機は広角レンズを使用しています。近いところは広く、遠いところは狭く映り、実際の距離感とは異なる場合があります。
- URLは、予告なく変更になることがあります。

本機はStradaカーナビステーション専用です。

適合機種（2020年9月現在）

- CN-F1X10BLD ●CN-F1X10LD

詳しくは、お買い上げの販売店にご確認ください。

最新の適合機種は、下記のホームページでご確認ください。

<https://panasonic.jp/car/navi/products/camera/>

製造番号
(Serial No.)

パナソニック株式会社 オートモーティブ社

〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地

© Panasonic Corporation 2020

Printed in Taiwan

ME-DOM-00046 F0520-0

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽症を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

取り付けや配線をするとき



警告



本機はDC12 Vのアース車専用です

DC24 V車には使用できません。火災や故障の原因となります。

説明書に従って、取り付けや配線をする

作業は手順通りに正しく行ってください。火災や故障の原因となります。

作業前に車体のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないようにし、加工部のサビ止め・浸水防止処置をしてください。火災や感電の原因となります。

作業前に、必ずバッテリーの端子を外す

外さずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す

ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

作業後は、車の電装品^{*}の動作確認をする

正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。

^{*}※ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど



分解や改造をしない

特に、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。

分解禁止

交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

取り付けや配線をするとき



警告

取り付けやアース配線に、車の保安部品*を使わない

制動不能や発火、交通事故の原因となります。

*ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。

万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



注意

取り付け（取り外し）や配線は、専門技術者に依頼する

誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

しっかり確実に取り付ける

走行中の脱落や破損などで、交通事故やけがの原因となります。

取り付ける場所の水気や汚れ（ほこりや油など）は、取り除いてください。取り付け状態（接着など）を、ときどき点検してください。

必ず、付属品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

板金やエッジ、樹脂バリおよび可動部に干渉しないように配線する

断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。



コードを破損しない

断線やショート、傷の部分からカメラ内部に湿気や水が吸い込まれて、火災や感電、故障の原因となります。

- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。
- 車体やねじ・可動部（シートレールなど）へ挟み込まないように、配線してください。
- ドライバーなどの先で押し込んでください。

ご使用になるとき



警告

目視による安全確認をする

カメラの死角になっている人や物にぶつかるおそれや、交通事故の原因となります。必ず目視で安全確認をしながら、ゆっくり後退してください。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。ヒューズ交換や修理は、お買い上げの販売店に依頼してください。



故障や異常な状態のまま使用しない

異常（画像が映らない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がするなど）が起きた場合は、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。事故や火災、感電の原因となります。



注意

本機を車載用以外には、使用しない

発煙や発火、感電、けがの原因となります。

自動洗車機（高圧水）による洗車をしない

カメラ内部に水が入ると、火災や感電、故障の原因となります。また、脱落による事故の原因となります。

落下させる、たたくなど、強い衝撃をあたえない

故障や火災の原因となります。

異常発生時やお問い合わせは

車を安全な場所に停車させて電源を切り、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に修理をご依頼ください。お客様による修理は、絶対におやめください。故障や異常の状況は、できるだけ具体的にご連絡ください。

使用上のお願い

携帯電話を使用するとき

- 電話の位置や向きにより、カメラ映像にノイズが出ることがあります。その場合は、本機から離してください。

免責事項について

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、取り付けの不備、お客様の故意または過失、誤使用、異常な条件下での使用により故障および損傷が生じた場合、補償はできません。
- 本機を業務用のバスやトラック、タクシー、商用車などに使用した場合の保証はできません。

作業の順序

1 バッテリーの (-)端子を外す

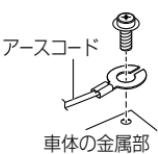


2 カメラの取付位置を決め、 仮止めする

3 各種コードを配線する

お願い

- アースコードを最初に接続してください。



- ショート事故防止のため、電源コードのコネクターへの接続は、必ず他の配線を済ませてから最後に行ってください。
- 必要に応じて中継コードを使用してください。

4 バッテリーの(-)端子をもとに戻す

お願い

- バッテリー端子取り付け用ナットは、寸法が合った工具を使用し、しっかりと締め付けて固定してください。

5 カメラの映像をモニターに表示し、 カメラの角度を調整する

- 接続する機器の説明書をお読みください。

6 カメラを固定する

- ねじをしっかりと締めてください。

7 取り付け・配線を確認する

取り付け・配線の前に

- 取り付ける前に内容物をご確認ください。
- 取り付けには、一般工具、トルクレンチ、カッターナイフ、布きれなどが必要です。
- 盗難防止システムなどの保安装置を装備した車両に取り付ける場合は、車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。不用意にバッテリーを外すと、保安装置が誤作動したり、動作しなくなる場合があります。
- ボルト、ナット、ねじの取り付けは寸法が合った工具を使用し、まっすぐ確実に行ってください。
- 作業終了後、確実に取り付け・配線がされていること、および車の電気品が正しく動くことを必ずご確認ください。

取り付け・配線の作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。

お願い

- コネクターは確実に差し込んでください。
- 各コードに接続するコネクターが合わない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- コードを引き回す際は、高熱部や車体の金属部との接触を避け、コードクランパーや市販のテープなどで要所を固定してください。
- ヒューズが切れた場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にヒューズの交換を依頼してください。
- 各種アンテナコード(地上デジタル、ラジオ、GPS)は、電源コードとは別々に配線してください。また、あまたの各種アンテナコードとは別々に束ねてください。一緒に束ねるとアンテナの受信感度が低下したり、映像・音声にノイズが入る原因となります。

リヤビューカメラの取り付けかた

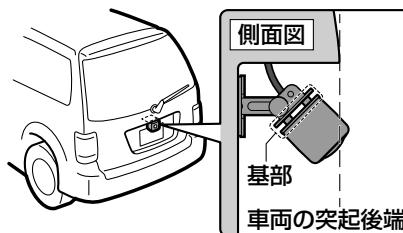
取り付け位置について

国土交通省の定める保安基準^{*}に適合させるため、次の例を参考して取付位置を決めてください。

※ 道路運送車両の保安基準 別添 20 外装の技術基準

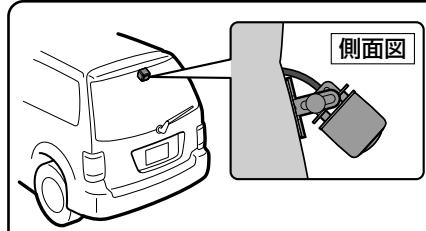
最新の保安基準は、国土交通省の Web サイトをご確認ください。

正しい取り付け例



取付位置の車両突起後端の内側に、
カメラ基部が入るように取り付けてください。

誤った取り付け例



保安基準に適合しないため、車両に隠れない位置には取り付けないでください。

取り付ける前に

- 設置面の汚れ（ごみ、油など）をきれいに拭きとり、湿気を乾かしてください。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、ドライヤーなどで接着面を温めてください。
- 接着面が完全に乾いた状態で作業を行ってください。接着不良などによるはがれの原因となります。
- 取り付けた後 24 時間以内に、雨にぬらしたり、水をかけたり、引っ張ったり、無理な力を加えたりしないでください。

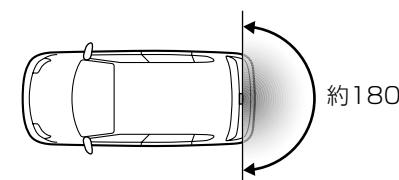
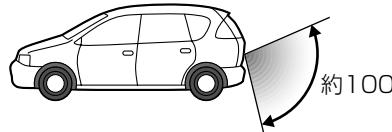
市販のテープなどでカメラを仮止めして、取り付ける位置を決めてください。

- 必要な範囲が見える取り付け位置を、仮接続したモニターの表示で確認してください。
- 車幅に対してできるだけ中央付近に、車両ナンバーを隠さないようにカメラを取り付けてください。
- 貼り直しは粘着力が低下しますので、絶対におやめください。
- 両面テープの接着面に触れないでください。粘着力が低下します。

お知らせ

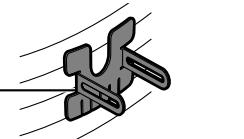
- フッ素樹脂処理された（水滴や泥水などをはじく）塗装面やガラス面、再塗装された面には貼り付けられません。

カメラの視野範囲



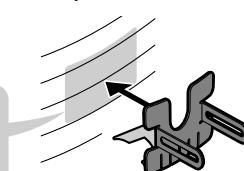
1 カメラブラケットを車体に取り付ける。

- 取り付ける面に合わせて变形させる。

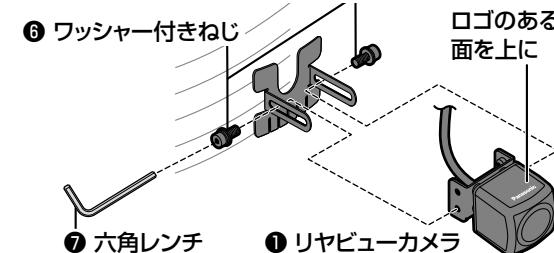


- 裏紙をはがしてしっかりと密着させる。

●接着面に手を触れないでください。
●貼りなおさないでください。



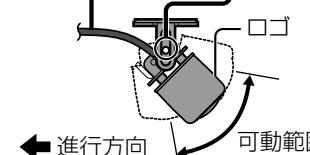
2 カメラを、カメラブラケットに取り付ける。



取り付ける位置により、使用するねじ穴およびコードを引き出す方向が異なります。

■ 上面に取り付ける場合

- コードを折り曲げないよう引き出す。
- 角度を調整しやすい側のねじ穴に取り付ける。

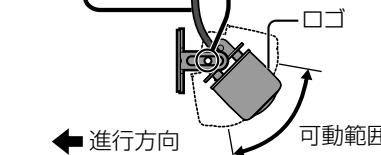


- 上下の位置を調整できます。



■ 側面に取り付ける場合

- コードを折り曲げないよう引き出す。
- 角度を調整しやすい側のねじ穴に取り付ける。



- 前後の位置を調整できます。



3 バンパーまたは車両後端部がモニターの下端に映るよう、カメラの角度を調整する。



バンパーまたは車両後端部



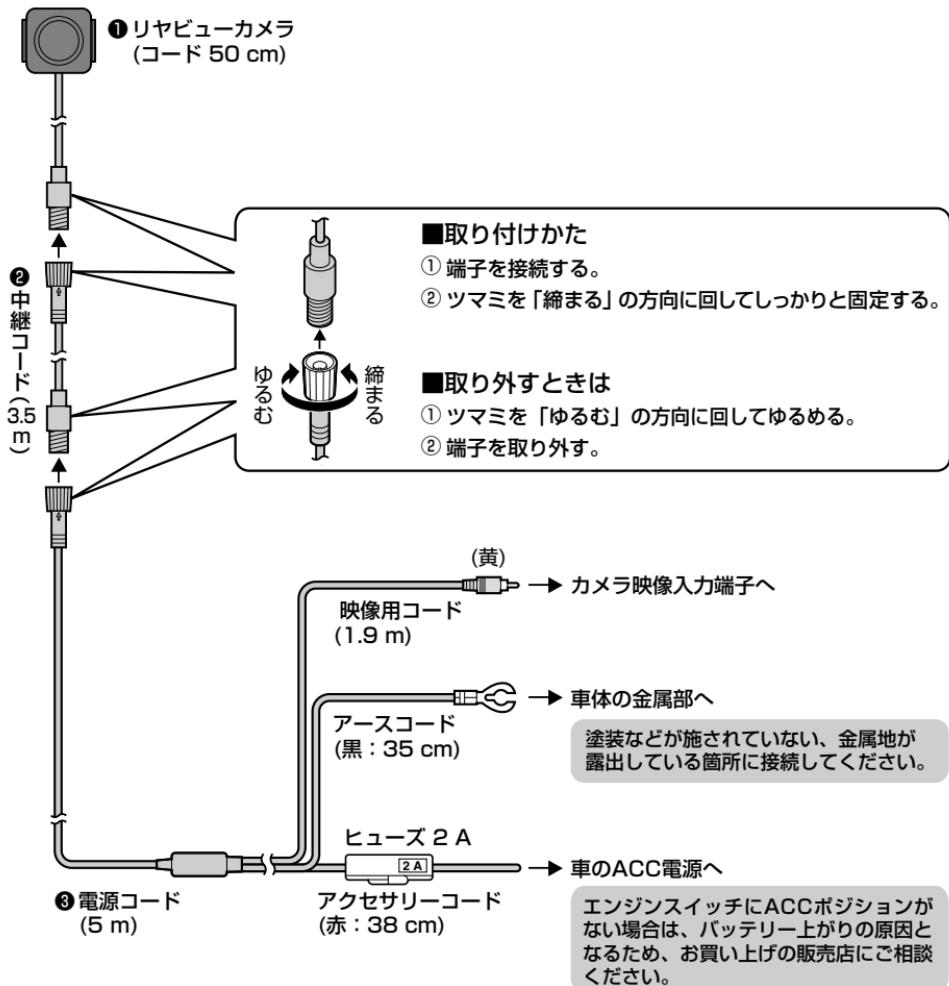
角度調整後、
ねじをしっかりと締めてカメラを固定してください。

配線のしかた

Stradaカーナビステーションと接続すると、シフトレバーをリバース(R)に入れたときに、カメラの映像を自動的に画面に表示します。

- 接続する機器の説明書に従って配線し、設定・操作してください。
- 車種や組み合わせる機器によって、接続できない場合があります。
お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。

配線が終了したら、必ずカメラの設定を行ってください。
詳しくは、接続する機器の説明書をご覧ください。



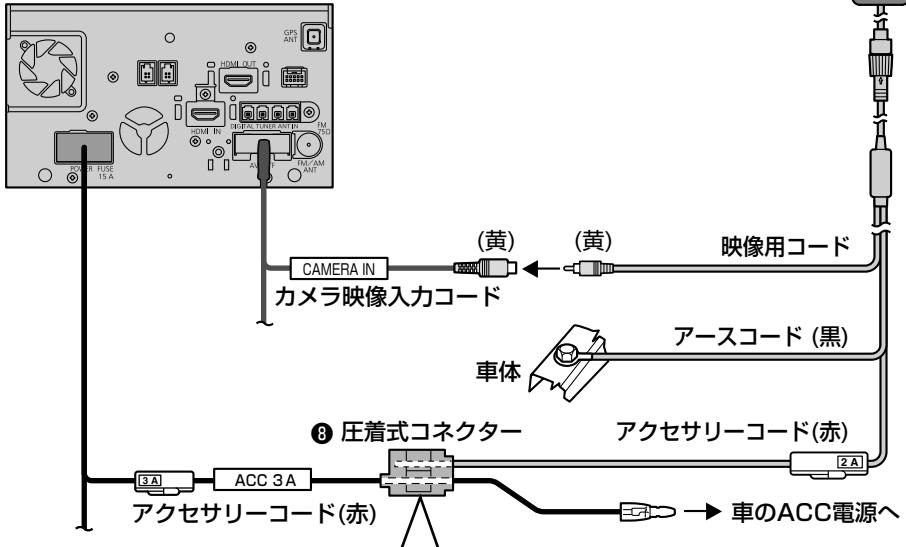
お願い

- コネクターは確実に差し込んでください。また、着脱時にコードを引っ張らないでください。
- コードを改造して延長しないでください。ノイズが出るなど故障の原因となります。

別売 カーナビステーションとの接続(例:CN-F1X10BLD)

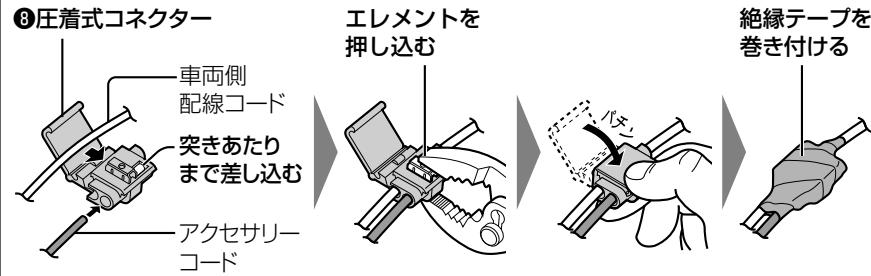
接続する機器の説明書をお読みになり、カメラの設定を行ってください。

別売 カーナビステーション (CN-F1X10BLD)



■⑧圧着式コネクターの取り付けかた

● 指定の箇所以外に使用しないでください。

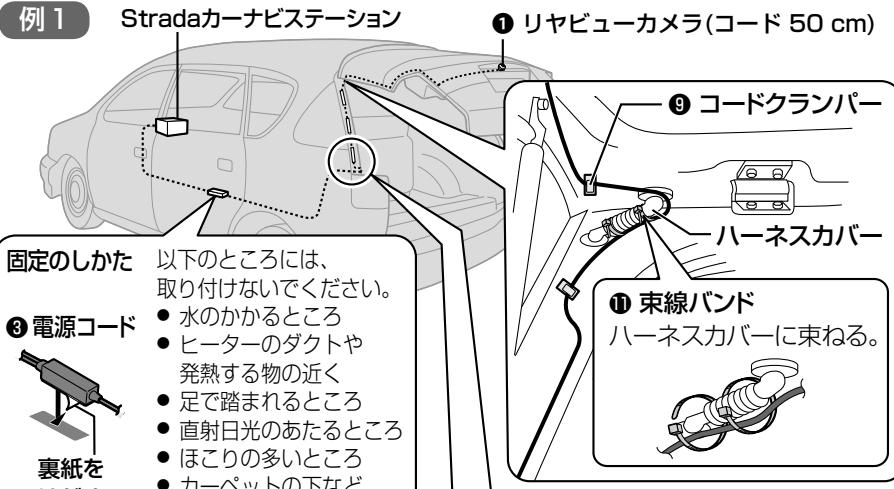


● コード芯線直径適合範囲: $\phi 0.64 \sim \phi 1.2$

コードの引き回し(例)

- 雨水などが浸入しないように、カメラのコードを引き込んでください。
- ドアの開閉でコードが引っ張られないよう、コードを余分にたるませて配線してください。
- バックドアやトランクリッドをゆっくり開閉しカメラのコードが縁に挟まれてこすれていないか十分に確認してください。こすれた傷の部分からカメラ内部に湿気や水が吸い込まれることがあります。

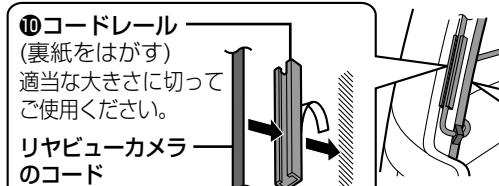
例1 Stradaカーナビステーション



固定のしかた 以下のところには、取り付けないでください。

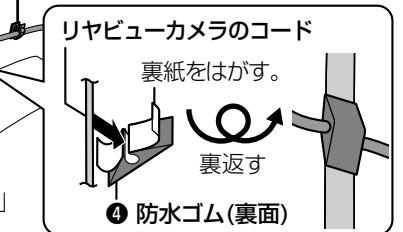
- 水のかかるところ
- ヒーターのダクトや発熱する物の近く
- 足で踏まれるところ
- 直射日光のあたるところ
- ほこりの多いところ
- カーペットの下など熱がこもるところ

コードの固定のしかた

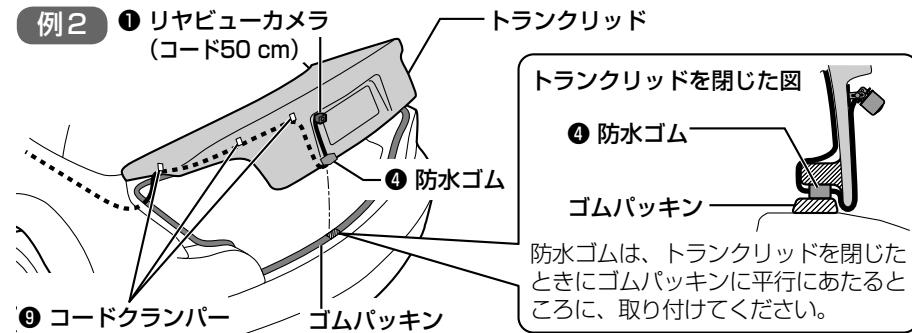


* 道路運送車両の保安基準 第18条「車枠及び車体」細目告示 第1節 別添20「外装の技術基準」

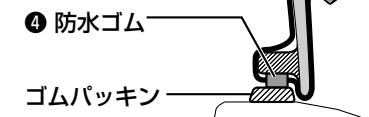
- 保安基準*に適合させるため、コード クランパーは車内に取り付けてください。



例2 ① リヤビューカメラ (コード50 cm)



トランクリッドを閉じた図



防水ゴムは、トランクリッドを閉じたときにゴムパッキンに平行にあたるところに、取り付けてください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、下表をチェックしてください。
それでも異常があるときは、使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因 と 处 置
カメラ映像が映らない	<ul style="list-style-type: none">● 各コードの接続をご確認ください。● 接続している機器の設定を確認してください。● 本機、または接続した機器のヒューズが切れている。 →お買い上げの販売店にご相談ください。
映像が不鮮明	<ul style="list-style-type: none">● カメラに泥やほこりがついている。 →レンズの汚れを拭いてください。
画面がちらつく	<ul style="list-style-type: none">● 蛍光灯などで照らされた場所を映している。 →画面がちらつくことがあります。 (故障ではありません)
画面が見えにくい	<ul style="list-style-type: none">● 暗いところを映している。● 部分的に明るい光を映している。● カメラが高温になっている。 →画面が見えにくくなることがあります。 (故障ではありません)

- 斜体の項目の確認には、専門の技術と経験が必要です。
安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機のお手入れ

- お手入れは、必ず車のエンジンを切った状態（ACC OFF）で行ってください。
- 本体の汚れは、きれいな柔らかい布で、軽く乾拭きしてください。
- 次のものを使用しないでください。
 - ・ 硬い布
 - ・ 研磨剤
 - ・ 洗剤（ガラス用クリーナー含む）
 - ・ シンナー、ベンジン、アルコール、ガソリンなどの有機溶剤、酸性やアルカリ性の溶剤
- レンズ部の汚れは、水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。
乾いた布で強くこするとキズの原因となります。